

# 第21回 揖保川流域委員会

1. 河川整備基本方針について報告
2. 前回の委員会での結果確認
3. 広報・公表のあり方について継続審議

平成17年3月9日

# 1. 前回委員会の議論の結果について

前回の委員会の議論は以下の6項目に分類されました。

- (1) 広報、公表の必要性について
- (2) 情報伝達の方法について
- (3) 流域の声をどのように取り込むか
- (4) 自治会や自治体との関わり方
- (5) 広報の主体について
- (6) 広報のための今後のスタンス

# (1) 広報、公表の必要性について

前回の委員会  
での議論の結果

広報・公表の必要性として以下の3点があげられました。

## 必要性 1

住民意見を反映させた揖保川の整備計画をつくる。

住民に揖保川のことや整備計画策定の議論が行われていることを知ってもらい、今後つくられる計画に意見を反映させるため

## 必要性 2

減災のために揖保川を知ってもらう

地震、風水害などの災害時のための河川防災に関心を持ってもらうため

## 必要性 3

川のために何かをしたい人と協働できるムード作り

川に関する活動、環境調査、美化活動等を行いたいときに人が参加しやすいようにするため

本日の委員会は、この結果について、さらに具体的にどのようにしていくかの審議をお願いしたいと考えています。

## (2) 情報伝達の方法について

前回の委員会  
での議論の結果

地域SNSの紹介をしました。情報伝達の方法について、以下の結果が得られました。

- **インターネットや地域SNS**は情報提供のツールとして非常に価値がある。
- 流域の人がすべてインターネットが出来るわけではないし、記録保存の観点から、従来どおりの**紙媒体が効果的**。
- しかし、紙媒体による情報提供は自治会や自治体の配布や回覧の**協力が不可欠**。

### (3) 流域の声をどのように取り込むか

前回の委員会  
での議論の結果

揖保川に関するアンケート調査結果の報告、流域の声を取り込むための方法論の提示をしました。以下のような結果が得られました。

- 住民の関心が低いのは河川に関する項目だけで議論するからである。
- 市民の関心事である、**まちづくりの一環として**揖保川に関する意見を聞く必要がある。
- 川への関心を戻すには環境教育など**学校との協働が必要**と考える。

## (4) 自治会や自治体との関わり方

前回の委員会  
での議論の結果

まちづくりに関しては地域に関わりのある話しでもあることから、自治体や自治会の関わりが議論になりました。

- 揖保川とまちづくりを一体として考える場合、河川整備計画に**自治体の関与が必要**である。
- 地域住民の意見を取り上げるには、**自治会**や市民に近い立場の**市**や**町**に河川整備計画への関係を深めてもらう必要がある。

## (5) 広報の主体について

前回の委員会  
での議論の結果

広報の主体者については、現在の整備計画を周知する仕組みと、整備計画策定後のモニタリングや住民の声を反映する組織について議論がされました。

- 整備計画の策定段階においては流域委員会が広報主体となっているが、策定された整備計画に関する広報は**河川管理者が主体**になる。
- 整備計画の実施段階において住民の理解を深めるなど目的に応じて**流域委員会の後身の組織**等の議論が残される。

## (6) 広報のための今後のスタンス

前回の委員会  
での議論の結果

今後の広報への取り組みのスタンスは、短期的なスタンスと長期的なスタンスの双方が必要であるとの結果が得られました。

● **長期的、短期的**に分けたアクションプログラムが必要。

長期的

20～30年かけて、川を知ってもらい意見をもらう長期的な取り組み。具体的には、ワークショップや学校教育への組み入れ等。

短期的

今後つくられる整備計画に住民意見を反映させるための意見聴取の取り組み。具体的には、複数の自治会を集めたタウンミーティング等。



## 2. 本日の討議内容

本日の討議内容は以下の3点を考えています。

**1**

**広報・公表の目的について**

**2**

**自治体の参画、自治会の協力について**

**3**

**広報の今後の進め方  
(短期的取り組みと長期的取り組み)**

### 3. 広報・公表の目的について

1

#### 広報・公表の目的について

- ①住民意見を反映させた揖保川の整備計画をつくる
- ②減災のために揖保川を知ってもらう
- ③川のために何かをしたい人と協働できるムード作り
- このほかにも目的などありませんでしょうか。



具体的なアクションプログラムへのアドバイスは  
ありますでしょうか。

## 4. 自治体、自治会の参画について

### 2

### 自治体の参画、自治会の協力について

- 自治体は、まちづくりを絡めると川づくりについても興味を示してくれるでしょうか。
- 自治会では、揖保川についての広報の協力の温度差があります。



自治体・自治会の協力を得るためにはどのようにするのがよいでしょうか。

## 5. 広報の今後の進め方について

### 3

### 短期的取り組みと長期的取り組み

- 短期的：自治会をまとめたタウンミーティング
- 長期的：ワークショップ、学校教育など
- 本委員会では短期的取り組みについて早々に着手して行ければと思います。



具体的なアクションプログラムを考えていきたい。  
アドバイスはありますか。  
他に取り組みのメニューはありますか。